

4月から半年を振り返って（園長つぶやき）

日中の熱さは残るものの、朝夕の涼しさが秋の訪れを感じさせてくれます。あっという間に10月になりました。今年度は、コロナウイルス感染症と一緒に時が流れているように感じます。また、新しい生活様式という言葉が生まれ、それが当たり前のように現在の生活に浸透しています。行事は、感染予防からなかなか実施できず、自分自身としても大変心苦しい状況です。今後、どのような形で進んで行くのか全く見当もつきませんが、それでも今できることを一生懸命に頑張っていきたいと思います。さて、年度も半年が過ぎ、子どもたちの成長もたくさん感じられるようになりました。月日が流れるのは本当に早いものです。0歳児で入園していた子どもたちがいつの間にか歩き出し、登園時に泣いていた子が今ではニコニコで過ごしています。年長の子どもたちは、ひまわりこども園の歳年長クラスとして色々な場面で力を発揮し、特に夏祭り以降は、子どもたちが中心になり活動を進めてくれる場面も見られるようになりました。



半年間しか経っていないのに、こんなにも大きく成長するのかと毎回ですが驚くことばかりです。今年は、子どもたちの遊びや活動の継続性を特に考えながら保育を行っているつもりです。その中でも、園庭の水遊びと、年長クラスを中心とする段ボールなどの製作遊びは、長く続いている遊びです。水遊びに関しては、年齢を問わずにどの子ども達も好きな遊びで、よく取り組んでいる様子が見られます。段ボールの遊びは前回紹介した通り、特に年長クラスで継続しました、発展性も見られ、創造性、協調性、社会性、コミュニケーション力等様々なことを子ども達同士の関わりの中で自ら学ぶことが出来ています。

残りの半年についても、現在の子どもの様子をしっかり把握しながら、遊びや活動がこれまでよりも増して充実していくように進めていきたいと思います。

(R2・10・5)